

「エネルギーから考えるにいがたの未来」

当社代表の横木将人が、副代表理事を務める「おらってにいがた市民エネルギー協議会」では、11月4日(金)りゅーとびあ劇場にて、シンポジウム「エネルギーから考えるにいがたの未来」を開催致します。第1部は元総理大臣の小泉純一郎氏の講演会「日本の歩むべき道」。第2部はデンマーク・サムソ島で自然エネルギー100%を実現したソーレン・ハーマンセンさんを囲んでのパネルディスカッションを行います。

新潟の未来を考える上で、とても貴重な機会ですので、ぜひご参加下さい。

詳しくは「おらってにいがた市民エネルギー協議会」のウェブサイトをご覧ください。

「Eco列車でいこう!」～第87回 日本酒ざんまいの列車～ (CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!)

日本酒をテーマにした列車が新潟県内を走っている。蔵元による日本酒の試飲会あり、おすすめ酒の飲み比べあり、気の利いたおつまみあり、JAZZの生演奏あり・・・。

8月28日(日)、その列車の乗ることを目的として旅に出た。

5:56の越後線吉田行で出発。内野までの住宅密集地を過ぎると田園風景が広がる。右手には角田山、弥彦山がそびえ、広々として胸のすくような光景だ。

吉田で柏崎行に乗り換える。寺泊、出雲崎など港町を想像させる駅に停車するが、実際はかなり内陸側を通過しており、日本海を望むことはできない。閑散とした車内に少しずつ高校生が乗り込んできて、終着柏崎に到着した。ファミレスのモーニングセットで空腹を満たし、直江津行に乗車。ここからは日本海に沿い、9:40に到着した。

お目当ての列車「越乃 shu*kura」は上越妙高発だが、今回は直江津から乗車する。3両編成のディーゼルカーで、1号車はお弁当・お酒付のツアー客専用車両、2号車は売店と立ち飲みスペース、3号車は一般客が乗れる指定席だ。

3号車の自席に荷物を置いたあと、さっそく2号車に行き、まずは生ビールと「する天」(するめの天ぷら)を注文し、車窓を見ながら一杯やる。まもなく、JAZZの生演奏が開始され、車窓には日本海が広がった。味覚、聴覚、視覚すべてが満たされる、最高のサンデーモーニングだ。

気分が良くなってきたので、おすすめ日本酒から3種類を注文して飲み比べをする。JAZZの生演奏が終わると、柿崎の酒蔵「代々菊醸造」さんによる日本酒ふるまいが行われた。小さな酒蔵で希少価値の高い「吟田川(ちびたがわ)」など3種類の酒を試飲することができ、希望者は購入することもできる。

酩酊状態の客を乗せた列車は長岡駅を經由して上越線に入り、越後川口へ。乗客の中には、柏崎名物の「鯛茶漬」を注文してお腹を満たしている人もいた。飯山線ののどかな風景を見ながら、12:33、終点十日町に到着。市内の店で×の「へぎそば」を食べて、大変満足した。日本酒好きはもちろん、そうでない方にもおすすめの列車である。

